

製品名: ZAC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20024**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	PLAGL1
別名	PLAGL1; LOT1; ZAC; Zinc finger protein PLAGL1; Lost on transformation 1; LOT-1; Pleiomorphic adenoma-like protein 1; Tumor supressor ZAC
遺伝子 ID	5325.0
SwissProt ID	Q9UM63
免疫原	抗血清はヒト PLAGL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

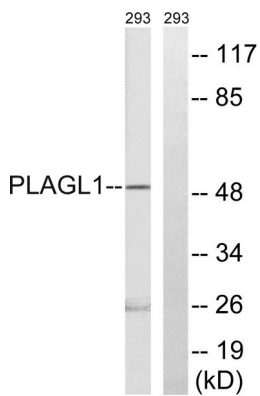
背景

この遺伝子は、細胞増殖抑制因子として機能する C2H2 ジンクフィンガータンパク質をコードしています。この遺伝子は、がん細胞

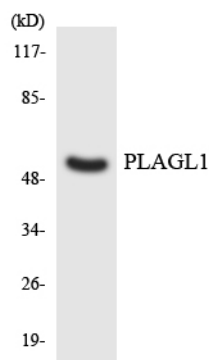
においてしばしば欠失またはメチル化され、サイレンシングされています。さらに、胎児期におけるこの遺伝子の過剰発現は、一過性新生児糖尿病 (TNDM) の原因因子と考えられています。選択的スプライシングと代替プロモーターの使用により、2つの異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。この遺伝子の P1 下流プロモーターはインプリンティングされており、多くの組織において父方アレルからの優先的な発現が見られます。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]機能: 弱い転写活性化活性を示す。下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチドの 1 型受容体の転写調節因子。類似性: krueppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。類似性: 7つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。、

研究分野

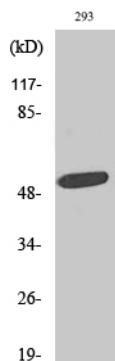
画像データ



PLAGL1 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PLAGL1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ZAC1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。

